

出題分野・科目・出題区分・出題数

- (注1) 「科目」の名称は、薬剤師国家試験出題制度検討会報告書(平成20年7月)にて、記されているものと同じ。
 (注2) 「出題分野(出題基準)」における各表記・括弧内番号は、今後、出題基準の策定作業において整理される。
 (注3) 「複合問題」は、①「実務」と「物理・化学・生物」、②「実務」と「衛生」、③「実務」と「法規・制度・倫理」である。
 (注4) 「組合せ問題」は、①「薬理」と「実務」、②「薬剤」と「実務」、③「病態・薬物治療」と「実務」である。

出題分野(出題基準)			出題区分			出題数
科目	大項目 ※「小項目」及び「小項目の例示」は省略。	中項目	必須問題	一般問題		
				薬学理論問題	薬学実践問題	
物理・化学・生物	物質の物理的性質	(1)物質の構造	15問	30問	15問 (複合①)	60問
		(2)物質の状態Ⅰ				
		(3)物質の状態Ⅱ				
		(4)物質の変化				
	化学物質の分析	(1)化学平衡				
		(2)化学物質の検出と定量				
		(3)分析技術の臨床応用				
	生体分子の姿・かたちをとらえる	(1)生体分子を解析する手法				
		(2)生体分子の立体構造と相互作用				
	化学物質の性質と反応	(1)化学物質の基本的性質				
		(2)有機化合物の骨格				
		(3)官能基				
		(4)化学物質の構造決定				
	ターゲット分子の合成	(1)官能基の導入・変換				
		(2)複雑な化合物の合成				
	生体分子・医薬品を化学で理解する	(1)生体分子のコアとパーツ				
		(2)医薬品のコアとパーツ				
	医薬品の開発と生産	(2)リード化合物の創製と最適化				
自然が生み出す薬物	(1)薬になる動植物					
	(2)薬の宝庫としての天然物					
	(3)現代医療の中の生薬・漢方薬					
生命体の成り立ち	(1)ヒトの成り立ち					
	(2)生命体の基本単位としての細胞					
	(3)生体の機能調節					
	(4)小さな生き物たち					
生命をミクロに理解する	(1)細胞を構成する分子					
	(2)生命情報を担う遺伝子					
	(3)生命活動を担うタンパク質					
	(4)生体エネルギー					
	(5)生理活性分子とシグナル分子					
	(6)遺伝子进行操作する					
医薬品の開発と生産	(3)バイオ医薬品とゲノム情報					
生体防御	(1)身体をまもる					
	(2)免疫系の破綻・免疫系の応用					
	(3)感染症にかかる					
健康	(1)栄養と健康	10問	20問	10問 (複合②)	40問	
	(2)社会と集団と健康					
	(3)疾病の予防					
環境	(1)化学物質の生体への影響					
	(2)生活環境と健康					